



 弘前中心街の移動にとっても便利！
土手町循環バス
弘前駅～土手町～本町～市役所～弘前公園(追手門・東門)～弘前駅など、弘前の中心市街地を循環。

■土手町循環バスは中心市街地(上記 路線)を1乗車あたり現金150円、IC130円で利用できます。
■10:00バスターミナル始発。18:00まで(12月～3月は17:00まで)10分間隔で運行。※17:00以降20分間隔
■1日乗車券(循環バスが1日乗降自由)大人500円、小学生250円
■問/弘前バスターミナル ☎0172-36-5061 konanbus.com/



時刻表は↑

(公財)むつ小川原地域産業振興財団の支援を受けて実施しています。



昭和改元100年企画

シソヌじろうさん演じる
津軽弁の人気キャラクター
「義彦おじさん」が
昭和の風景や名店を
探してまち歩き

シソヌじろうプロフィール

弘前市出身。お笑いコンビ「シソヌ」の台本とボケを担当。相手の長谷川忍と2006(平成18)年にコンビ結成し、「キングオブコント2014」で優勝を果たしました。コントでの強烈なキャラクター造形と卓越した作劇力で、コント師として圧倒的な存在感を放っています。近年は、映画・ドラマ・コント番組の出演のみならず、映像作品の脚本執筆など幅広い分野で活躍、多方面から注目を集めています。

Free Magazine

●発行/(公社)弘前観光コンベンション協会 TEL.0172-35-3131 ●2026年7月27日発行



かつてたくさんの遊具があった中庭



1 子どもたちを育んだ洋館

明治40(1907)年に陸軍第八師団の厚生施設として建てられました。戦後は「みどり保育園」の保育園として使われるようになり、シンソヌじろうさんも通った思い出の場所です。平成13(2001)年に国の重要文化財に指定され、現在は「旧弘前偕行社」として一般公開されています。

1 旧弘前偕行社

- 弘前市御幸町8-10 ●☎0172-33-0588
- 開／9:30～16:30
- 休館日／火曜日・年末年始 ●MAP:C-4



2 あの日の太宰に、会いに行く

太宰治(津島修治)が、昭和2(1927)年4月から5年3月までの旧制高校時代を過ごした家です。家の中には太宰ゆかりの資料などが展示され、太宰が暮らした部屋や使用した机などもそのまま残されていて当時の雰囲気を感じることができます。

わらしたった頃と
何も変わんねえ
風景残って5じゃ

2 旧藤田家住宅 (太宰治まなびの家)

- 弘前市大字御幸町9-35
- ☎0172-39-1134
- 営／10:00～16:00
- 休／年末年始
(12月29日～1月3日)
- MAP:C-4



街を歩いて 昭和を探す



昭和以前から町を彩る建物が今も現役の弘前。昭和の風景や愛される名店を、義彦おじさんと探して街を歩こう。



3 津軽の魅力をギュッと詰め込んだ市場

昭和31(1956)年より続く市場です。お客さんとの対面・対話を重視した昔ながらの販売スタイルにこだわり、旬の食材やお惣菜はもちろん、和菓子やスイーツまでも販売しています。

3 虹のマーケット

- 弘前市駅前町12-1 ●☎0172-32-6411
- 営／8:00～18:00 ●定休日／日曜日 ●MAP:D-3



4 元祖・土手町のランドマーク

明治32(1899)年築の平屋だった建物を大正9(1920)年に一戸時計店が譲り受けたのちに、木造2階建てへ改造されました。緑のトタン屋根から突き出る、風見鶏を備えた開業当時の赤い円錐屋根の時計台は、現在でも時を刻み続けており、土手町のシンボルとして親しまれています。

(平成30(2018)年に閉業、現在は、中土手町町会・中土手町納税貯蓄組合・中土手町融雪管理組合の事務所となっています。) ※見学は要問合せ

4 旧一戸時計店

- 弘前市土手町87 ●弘前中土手町商店街振興組合
- ☎0172-33-7001 ●MAP:C-3



弘南鉄道大鰐線・中央弘前駅

5 昭和を“体感”できる駅

昭和27(1952)年築、弘南鉄道大鰐線の発着駅です。駅構内や待合室には手描きの看板など当時のものがそのまま残り、硬券の切符や切れ込みを入れる改札鉄が現役で活躍するなど、まさしく昭和レトロを感じさせる空間です。

5 弘南鉄道大鰐線・中央弘前駅

- 弘前市大字吉野町1-6 ●☎0172-32-6449
- 営／6:30～22:10 ●MAP:B-3

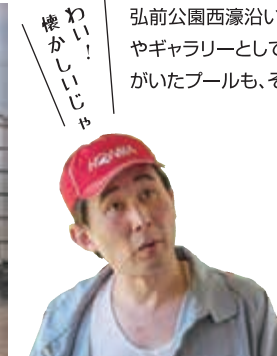
7 弘前市民の思い出が詰まった建物

弘前公園西濠沿いにある築69年の旧水族館をリノベーション。カフェやギャラリーとして使える空間に生まれ変わりました。かつてアザラシがいたプールも、そのままカフェスペースとして利用しています。

7 space 59(スペース ゴクー)

- 弘前市五十石町59 ●☎0172-35-1450
- 営／夏季4月～11月 9:00～16:00(冬季検討中)
- 定休日／火・水・木曜日(ギャラリーなどについてはお問合せください) ●MAP:A-1

▼水族館だった頃の写真



6 うちわ餅といったらココ! 時代を超えて愛される伝統の味。

創業は明治時代。現在地に餅屋として店を構えたのは、昭和20年代。住宅街にある老舗のお餅屋さんです。濃厚なごまの香りのタレがたっぷりかかったうちわ餅は、地元の方から観光客の方まで買いくる人気商品。シンソヌじろうさんが帰省するたびに買いくるお店としても知られています。

6 戸田うちわ餅店

- 弘前市銅屋町21 ●☎0172-32-7698
- 営／9:00～18:00※なくなり次第閉店
- 定休日／月・火曜日 ●MAP:B-3





ミルク味の他に、イチゴ、メロン、抹茶、コーヒー、チョコ、あずきキャンディもあります

8 【純喫茶 ルビアン】 いちごパフェ

かわいいグラスに彩られたいちごパフェ。ランプやスタンドグラスが彩る店内で、昭和の喫茶時間を楽しめます。(800円)

弘前市鍛冶町4 ☎0172-55-0722
営11:00~2:00(LO1:30) 休なし
●MAP:B-2

9 【カレー&コーヒー かわしま】 チーズフライカレー 肉のせ

じろうさんも愛する人気の一皿。チーズフライと肉の旨みが重なる、食べ応え抜群のカレーです。(1,550円)

弘前市土手町136 2F ☎0172-34-8800
営11:00~18:00 休木曜日
●MAP:C-3

10 【クルックー】 チョコスプレーバナナ クレープ

昭和時代に大人気となったイトーヨーカドー弘前店の「ポッポ」のレシピを引継いだお店。チョコスプレーバナナは店内のメニューに「じろうさんマーク」が付いているおすすめの一品です。(450円)

弘前市土手町65 ☎0172-55-0722
営10:00~17:30 休木曜日
●MAP:C-3

11 【名曲&珈琲 ひまわり】 ミックスピザと コーヒーセット

熱々のミックスピザと丁寧に淹れたコーヒーは、じろうさんもお気に入りの定番メニュー。音楽に包まれながら楽しむ、喫茶店ならではの一品です。(1,400円)

弘前市坂本町2 ☎0172-35-4051
営11:00~18:00 休水・木曜日
●MAP:C-3

昭和が薫る メニューを探す

どこか懐かしく、心まで温まる味。昭和の面影を残すメニューを探しながら、ノスタルジックな時間を味わってみませんか。



10



9



名曲&珈琲 ひまわりで実際に使われていた昭和懐かしい手描きのPOP



11



8



※令和8年9月1日より価格改定いたします。

12



13



14



※5月末~9月末まで夏休みです。

17



16



昭和が薫る お土産を探す

駄菓子屋の棚に並んでいたあの味、家族で分け合った懐かしい甘さ。あの頃の思い出とぬくもりを探しに行きませんか？

12 【佐藤製菓】 イモ当て

「くじ駄菓子館ドーナツ」として昭和40年頃に誕生、くじを引いて楽しむ津軽伝統の駄菓子です。素朴な甘さと懐かしい味わいで、世代を超えて親しまれています。(11個入り1,400円)

弘前市津賀野宮崎68
☎0172-34-3356 営13:00~17:00
休水・日曜日 ※購入は「さくらほす」へ
●MAP:A-2

13 【チボリ菓子店】 チョコタヌキ

昭和55(1980)年創業当時の人気のメニュー。特製バタークリームを濃厚なチョコレートでコーティング。レトロな愛らしい姿とコク深い味わいです。(350円)

弘前市小栗山川合140-1
☎0172-87-4533 営10:00~17:00
休なし ●MAP:C-4

14 【川越黄金焼店】 こがね焼

明治18(1885)年創業、弘前市民なら食べたことがない人はいないほど親しまれるソウルフード。香ばしい生地でご飯を包み、今も変わらぬおいしさで愛されています。(80円)

弘前市土手町21-3
☎0172-32-6547 営9:00~20:00
休1月1日 ●MAP:B-2

15 【旭松堂】 エンゼルケーキ

口だけのよいバタークリームと軽やかな焼きメレンゲが魅力。昭和40年頃から販売、市民に愛されています。(2,268円)

弘前市本町102 ☎0172-32-4023
営8:00~18:00 休毎月9・10・24・25日
●MAP:B-2

16 【相馬アイスクリーム店】 手作り アイスクャンディー

昔ながらの味わいで親しまれる相馬アイスクリームのアイスクャンディー。シソヌじろうさんも訪れる、弘前で愛され続ける夏の定番です。(130円)

弘前市恵戸鳴瀬136 ☎0172-32-6816
営8:30~17:25 休木曜日
営業期間(4月10日頃~10月5日頃)
●MAP:A-4

17 【いなみや菓子店】 いなみやバナナ

明治38(1905)年創業、銘菓「バナナ最中」発祥の店。バナナ形の最中皮に上品な白あんを包んだ、見た目もかわいい名物菓子です。(170円)

弘前市富田1丁目6-5
☎0172-32-0667 営9:00~19:00
休なし ●MAP:C-3

※金額は税込み表示です。



代官町deオシャレトロ

昭和の建物をリノベした個性的な雑貨屋さんや
老舗店の昭和から愛される商品を紹介!!

結構いいが
使ってみる!



18

昭和を思わせるラジオとランプ



薬筆笥などの珍しいアイテムも取扱う



green furniture



19

bambooforest



すらしと並んだ無添加の調味料



オリジナル商品「ほたてのめがみ」



昭和レトロを感じさせるプリン



antique&cafe ROTTO



似合うべが?



新色のござん刺し小物

衣料品もすらしと並ぶ

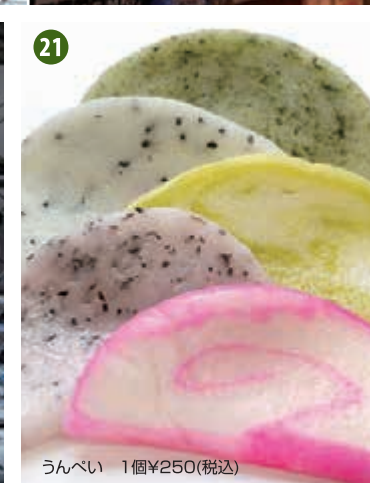


20

SPACE DENEGA



ライブホール



21

うんべい 1個¥250(税込)



22

サラダパン 1個¥205(税込)



裏手には、旧石郷岡眼科の入院棟跡が当時の姿
そのまま残っています。※外観のみ見物・撮影可



green

18 green furniture

アンティーク家具やリメイク雑貨を扱う古道具
店です。店内には、昭和以前の家具や雑貨を中心
に、約1000点ものアイテムが並び、主に弘前で
見つけた一点物が多く扱われています。

●弘前市代官町19-1 ●☎0172-33-9288
●営業時間／11:00～17:00
●定休日／火・水・木曜日 ●MAP:C-3

19 bambooforest

雑多屋の呼び名がふさわしいゼネラルストアで
す。店内には無添加の調味料や日本全国津々
浦々から集まった、衣食住や文化にまつわる物
が所狭しと並びます。

●弘前市代官町20-1 ●☎0172-35-4520
●営業時間／11:00～18:00
●定休日／火曜日 ●MAP:C-3

20 SPACE DENEGA

昭和58(1983)年築。代官町にほど近い物静かな環境
にある美しい煉瓦壁の建物です。美術作品の展示会や
ライブなど市民に幅広く使われているレンタルスペ
ースで、夜はCafe & Bar Churrosも営業してます。

●弘前市上瓦ヶ町11-2 ●☎0172-32-1794
●営業時間／10:00～19:00
●定休日／火曜日 ●MAP:C-3

21 甘栄堂のうんべい

藩政時代より慶善用、私事用など広く用いられた餅菓子です。
●弘前市代官町41 ●☎0172-32-1011
●営業時間／9:00～18:30 ●定休日／不定休 ●MAP:C-3

22 ブーランジェリーイシタのサラダパン

ポテトサラダがぎっしり詰まった昭和から変わらない商品です。
●弘前市代官町18-4 ●☎0172-32-3515
●営業時間／7:30～18:00 ●定休日／日、月曜日 ●MAP:C-3

23 antique&cafe ROTTO

建物の築年数は不明ですが、改修時の床下から
昭和8(1933)年の新聞が出てきたことで話題
になりました。昭和レトロを感じさせるプリンほ
お店の人気メニューです。

●弘前市代官町111-2 ●☎0172-55-9174
●営業時間／11:30～17:00(L.O.16:30)
●定休日／水・木曜日 ●MAP:D-2

24 green

築100年を迎える旧石郷岡眼科の洋館風の洒落
た建物を活かした、人と地球に優しい暮らしを提案
するセレクトショップ。伝統工芸のござん刺しや雑
貨、衣料品など温もりある品々が並びます。

●弘前市代官町22
●☎0172-32-8199 ●11:00～18:00
●休／水曜日、第2・第4木曜日 ●MAP:C-3

レトロ
建物の

Cafe・雑貨・和のごはん

レトロな建物で、ほっとひと息。カフェや和のごはん、暮らしを彩るこだわりの雑貨たち。

日常にそっと寄り添う、心くつろぐ空間をご紹介します。

25



古民家 sudatsu



オリジナル商品のこぎん刺し



特徴的な柄のトロヤン陶器

26



山の子けの汁で膳 ¥1,848(税込) ※季節によりメニュー内容は変わります。



高岡の森 古民家カフェ 山の子

たんげ
落ち着く
はんで

28



2階にはビンテージ家具が展示されている



旧杉山醫院の面影をそのまま残す



PPP interior



店内にはヨーロッパ各国で遊び集めた食器や小物が並ぶ

29



日本庭園と開放的な室内



国の登録有形文化財に指定されている翠明荘

27



御料理 なる海



築約190年の蔵を改装

30



FILLS CAFE



アップルバイミルク ¥750(税込)



蔵とカフェのカウンターがマッチする店内

25 古民家 sudatsu

築90年ほどの古民家を自分たちでリノベーションし平成29(2017)年5月に開業しました。オリジナルこぎん刺し商品やブルガリア製のトロヤン陶器を中心にレトロな雑貨などを取り扱っています。

●弘前市小栗山小松ヶ沢137 ●☎0172-78-1207
●営業時間／平日10:00-15:00/土日10:00-17:00
●定休日／水曜日 ●MAP:C-4

※営業に関してはSNSをご確認ください。

26 高岡の森 古民家カフェ 山の子

高照神社門前に佇む築80年以上の古民家カフェ。青森県産食材や発酵食品、無添加にこだわった郷土料理「けの汁で膳」が人気で、囲炉裏のある落ち着いた空間でゆったり過ごせます。

●弘前市大字高岡字獅子沢2-2 ●☎0172-26-8785
●営／11:00～17:00(L.O.16:30) ●定休日／火曜日・第1,3月曜日(臨時休業有) ●MAP:A-4

27 御料理 なる海

築約190年の蔵を改装したお店で、店内も重厚な土壁と木の温もりが調和する落ち着いた和の空間が広がります。リーズナブルなランチなど、旬の懷石をおまかせコースで楽しめます。

●弘前市本町34 ●☎0172-35-0081
●営／11:30～14:30(L.O.13:30) 18:00～21:30(L.O.19:30)
●定休日／日曜、第3月曜、祝日の月曜 ●MAP:A-3

28 PPP interior

明治時代に建てられた旧杉山醫院を、最小限の改装で設え当時のままの姿を残した建物です。店内にはヨーロッパ各国でじかに遊び集めたビンテージ家具、食器、小物などを取り揃えています。

●弘前市百石町小路3
●営／店舗 14:00-16:00 倉庫 8:00-13:30
●定休日／火曜日 ●MAP:B-2

29 翠明荘

昭和初期の実業家・高谷英城の邸宅として昭和9(1934)年に建築された歴史的建造物。国の登録有形文化財の趣ある空間で、ランチやディナーなど贅沢な懷石料理が楽しめます。(完全予約制)

●弘前市元寺町69 ●☎0172-88-8360
●営／火・木・金18:00～21:00 水・土11:00～14:00・18:00～21:00 ●定休日／月・日曜日 ●MAP:B-2

30 FILLS CAFE

築100年以上の蔵を改修したカフェで、音楽とコーヒーで心を満たす出会いと体験を作りたいと令和7(2025)年12月にオープンしました。

●弘前市在府町4-4 ●営／平日:12:00～18:30/土・日・祝:10:00～17:00/朝営業(月・水)7:30～10:30/夜営業:(金・土)20:30～23:30 ●月ごとの営業日はInstagramをご確認ください ●MAP:A-3

レトロ旅館



時を重ねた弘前のレトロ旅館で
当時の雰囲気味わう贅沢な時間。

31 小堀旅館 [近代和風建築]

明治24(1891)年創業、昭和3(1928)年に現在の地へ移転しました。入母屋の大屋根と高い軒高が特徴的な建物には、土蔵や趣ある暖簾が残り、歴史と風情を感じさせる老舗旅館として、城下町・弘前の趣を今に伝えています。

●弘前市本町89 ● ☎0172-32-5111
●客室数 / 18室 ● P / 10台 ● in 15:00 ~ 21:00 ● out ~ 10:00 ● 1泊素泊まり / 5,600円(税込・弘前市宿泊税込) ~ ● MAP: B-3



創業当時の暖簾



存在感のある土蔵



石場旅館



石場旅館の看板娘「ときの娘」

32 石場旅館 [近代初期の伝統建築]

明治12(1879)年創業の老舗旅館で、現存する弘前市内の旅館では最古の建物です。戦中は「陸軍召集軍用旅舎」として利用され、戦後は進駐軍の接収施設となるなど、激動の昭和を歩んできました。建物は国登録有形文化財に指定されています。

●弘前市元寺町55 ● ☎0172-32-9118 ●客室数 / 18室 ● P / 10台 ● in 15:00 ~ ● out ~ 10:00 ● 1泊素泊まり(シングル) / 6,800円(税込・弘前市宿泊税込) ~ ※時期による宿泊料金の変動有り ● MAP: B-2



中だつきゃ
迷子になるくらい
広いはんで!!

明治22年(1889)の増築の際作られた「太鼓橋」



津軽あかつきの会厨房

33 津軽あかつきの会

春夏には採れたての山菜や自らの畑でつくる野菜、秋にはキノコ、冬には、発酵・塩蔵・乾燥といった技術を駆使した保存食を調理した津軽の伝統料理を提供しています。7~8品のおかずが並びお膳で、料金はお一人様2,000円(税込)。完全予約制となっており、4名様以上で、利用日の4日前までにご予約をお願いいたします。

●弘前市大字石川字家岸44-13
●070-6613-8317
●営 / 木金土日 11:30~14:00(要予約)
●予約受付時間 9:00~15:00 ●MAP: D-4



りんごの漬物



津軽伝統料理のお膳

農と暮らしの歴史を伝える、趣ある古民家空間で懐かしさに包まれる特別な時間を楽しめます。



旧石戸谷家住宅



デジタル技術による複製作成を行った模絵

34 旧石戸谷家住宅

江戸時代の豪農の建築を知るうえで貴重な建物であることから、昭和60(1985)年に弘前市指定有形文化財に、令和6(2024)年に県重宝に指定されました。現在は、史跡津軽氏城跡堀越城跡で一般公開されています。

●弘前市大字川合字岡本 ● ☎0172-82-1642(文化財課)
●営 / 4/17~11/23 9:00~16:00 ●定休日 / 無 ●MAP: D-4



旧小山内家住宅



当時の暮らしを色濃く残した屋内

35 旧小山内家住宅

戦前まで津軽地方にあった農家住宅の形態をよく表しており、弘前市の有形文化財に指定されています。現在は弘前市りんご公園に移築の上、公開されています。

●弘前市大字清水富田 ● ☎0172-36-7439(りんご公園)
●営 / 9:00~17:00 ●定休日 / 無 ●MAP: A-4

農家住宅



なんぼ
あずまんだ

旧小山内家住宅

津軽の保存食文化

津軽内陸部は、冬場は降雪や厳しい寒さのために作物を育てることができなかった地域です。そのため冬の備えとして、夏に沿岸部から届く海産物や、春から秋にかけて収穫した畑や山の恵みを干したり塩漬けや発酵させて長期保存し、冬にのいしく調理する知恵が育まれてきました。



◀ 乾燥させた棒鰯を一晚から一日かけて水で戻してから調理します。

津軽郷土料理



昭和の食卓を彩った津軽の郷土料理を
心ゆくまで堪能ください。